

2010年 6月21日

参議院議員選挙愛知選挙区予定立候補者
様

木曽川水系連絡導水路事業および長良川河口堰に関する 公開アンケートについて（お願い）

導水路はいらない！愛知の会
共同代表 小林 収 ・加藤 伸久

国民生活向上と国政発展をめざし、参議院議員選挙に立候補されたことに敬意を表します。私たち「導水路はいらない！愛知の会」は昨年6月、揖斐川上流の徳山ダムの水について一部は長良川経由で木曽川に導水する、木曽川水系連絡導水路事業（以下、「導水路」事業という）に公金（愛知県税）を支出することは、税金の無駄遣いであるとの観点から、愛知県知事らを被告に、名古屋地裁へ公金支出の差止「住民訴訟」を提訴しています。

提訴に先だって、私たちが愛知県の資料を基に検討したところ、近年の水需要の実績の数値は、長良川河口堰の水・徳山ダムがともになくても、愛知県民の生活（経済活動を含めて）には、何ら支障がない（現在、河口堰を水源に知多半島へ県水が給水されています。これは犬山頭首工の暫定水利権を放棄して、河口堰にアリバイづくりをしたもので、知多半島住民からはまずい、臭いと苦情が絶えません。）ことが明らかとなりました。

昨年5月の河村名古屋市長「撤退」表明など、「ダム」事業に対する国民の疑問の声の広がりや政権交代のもとで、導水路事業は現在「凍結」となっていますが、本年度の国予算では、「環境調査」として5億円の事業費が計上されたように、事業は実質進行しています。

私たちは、こんなやり方でムダな公共事業に890億円もの公金が使われることを看過できません。福祉・医療など、国民生活の安定のためにこそ廻されるべきと考えます。

また、今年の秋には、生物の多様性を議論するCOP10（生物多様性条約締結国会議）が、名古屋市で開催されます。生態も流域文化も異なる揖斐川・長良川・木曽川を連結する導水路や、川と海を断絶する「河口堰」が生物の多様性に逆らうことは明白なことです。

私たちは、導水路事業や河口堰の水質問題が地域問題にとどまらず、国政の重要課題であり、次世代につながる重要な課題と考える立場から、貴候補にご質問致します。

ご回答をいただき、県民に投票行動の判断材料として広く情報提供したいと考えております。趣旨を理解していただき、ご協力をお願いいたします。

なお、勝手ではありますが選挙日程の関係から、ご回答は2010年6月28日（月）までに当会事務局まで確実に届くようFAXまたはメールでお願いいたします。

（「導水路はいらない！愛知の会」事務局：加藤伸久）

Tel & Fax 052-811-8069 shinkyuko@s8.dion.ne.jp

木曽川水系連絡導水路事業および長良川河口堰に関する 公開アンケート（案）

1 現在、国は木曽川水系連絡導水路事業について「凍結」としてはいますが、他方で今年度5億円の予算がついています。このままでは、来年度も同額程度の予算がつくことと想定されます。

本事業の今後について、貴候補はどのようにお考えですか。以下の事項を選択・回答してください。

- (1) 速やかに本工事着工し、事業を推進すべきである。
- (2) 今年度予算の執行を凍結し、地元を中心に計画の見直しを行うべきである。。
- (3) 事業を中止し、事業計画を白紙に戻すべきである。
- (4) その他

このことに関し、お考えがあれば意見を述べてください。

2 長良川河口堰の水質悪化に関連し、知多半島へ給水の県営水道の水源について、以下の事項を選択・回答してください。

- (1) 現状のまま、長良川河口堰の貯留水でよい。
- (2) 元の木曽川（愛知用水）に戻すべきである。
- (3) その他

このことに関し、お考えがあれば意見を述べてください。

3 木曽川水系三川（三河川）の環境・水利用などに関する政策提案・マニフェスト・お考えなどがあれば、述べてください。

以上